

令和3年度 外国語 科
教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	3	A B C D E F	2	必修修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義、演習等
教科書	Vision Quest English Expression Ⅱ
使用教材等	Grammar Collection Select Version , いいずな書店 Scramble 4th Edition , 旺文社 New Edition Mileage Reader 5 , いいずな書店

科目の目標・内容等

学習目標	英文法・語法を体系的に理解、演習し、大学入試レベルの英語力を身に付ける。
学習における留意点	正解にたどり着く着眼点を見抜き、正しい道筋を選択できるように学習を進める。
予習・復習	文法・語法問題集と、一問一答集をリンクさせながら広範な知識を効率的に学ぶ。
評価方法	小テスト及び定期考査。

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	時制 受動態 助動詞 仮定法 不定詞 動名詞 分詞動詞の語法 名詞・代名詞の語法 形容詞の語法 副詞の語法 前置詞	設問に取り組む際の着眼点を自分の力で見出し、正解に至るまでの道筋を立てられるようになること。また、動詞と特定の前置詞の組み合わせ、動詞が取り得る特定の文型、似た意味の動詞の使い分け、ある動詞の固有の使い方をマスターする。その他、それぞれの語の使用法を身に付ける。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。
2	主語と述語動詞の一致 疑問文 否定・倒置・省略・強調 比較	1学期に学習したさまざまな語の用法を理解したうえで、英文の骨格を決定するルールである文法をさらにアウトプットできるようにする。大学入試レベルの、細かな語法に焦点があてられた設問に対しても、対応できる力の獲得を目指す。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。
3	総合演習 入試問題対策演習	ここまで学習した文法・語法・会話表現・イディオムについての様々な問題がランダムに出題されても対応できる、大学受験レベルの英語力を身に付ける。	①設問に取り組む着眼点や正解に至る道筋を理解している。 ②語が個別に取り得る様々な形の体系を理解している。 ③イディオムや会話表現について意欲的に練習し、体得しようとしている。 ④獲得した知識を展開し、入試問題を解く力にまで高めている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。